

第28回

きのこの料理
コンクール全国大会

「第28回きのこの料理コンクール全国大会」が、3月4日、東京都渋谷区の服部栄養専門学校で開催されました。

この大会は、しいたけ等のきのこのことについての正しい知識と新しい料理方法の普及を図り、きのこの消費拡大を目的として昭和62年から開催されているもので今年で28回目を迎えます。

全国から応募された作品は2,190作品。このうち地区大会を勝ち抜いた11名が出場し、今回は、女子高校生・専門学校生を中心とする出場者となり、若い人達の活躍が目立つ大会となりました。各出場者の皆さんは、審査員である服部栄養専門学校校長の服部幸應さん、服部栄養料理研究会会長の服部津真子さん、料理研究家の堀江ひろ子さん、中華料理店オーナーシェフの久保木武行さんが見守る中、緊張した面持ちながらも手際よく調理を行いました。

各作品の審査は、味覚(味、口触り、色調、食べやすさ)、獨創性(アイディアの斬新さ、調理内容など)、普及性(家庭でも時間をかけずに手軽に作れるか)、経済性などの審査基準に従い審査・採点され、「林野庁長官賞」、「しいたけ等特用林産振興議員連盟会長賞」ほか各賞が授与されました。

表彰式では、しいたけ等特用林産振興議員連盟会長の中曽根弘文参議院議員から「本日は、どれも素晴らしい作品です。しいたけについては、東北・九州を中心に震災以降打撃を受けておりますが、和食がユネスコ無形文化遺産に登録され、しいたけは和食に欠かせない食材となります。きのこの料理の普及を通じてこれからも消費拡大に努めていきます。」との祝辞があり、今井敏林野庁長官からは「今回の出場者には高校生が多く、若い人達からも幅広くきのこ



林野庁長官賞



「ビックリきのこエビフリヤー」
岐阜県 いわさき 岩崎 ひとみさん

林野庁長官賞



「じゃこきのこ」
愛媛県 かみの 上野 マリエさん

しいたけ等特用林産振興
議員連盟会長賞



「きのこたっぷりライスバーガー」
栃木県 よした 吉田 愛優美さん



が支持されていることを嬉しく感じます。本年5月開催予定のミラノ万博では、和食がメインテーマとして世界に発信されますし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいても世界の人人々に日本文化のすばらしさを伝える絶好の機会となります。その中でのこの料理を更にアピールしていきたい。」との挨拶がありました。服部審査員長からは、「どれもアイデアあふれる作品で、若い方、経験のある方、様々な良さがあり、非常に迷いました。将来的な展望も点数に入れて審査をしました。今後、世の中に伝えていっていただきたいと思います。また、更に今回以上のもの挑戦して欲しい。」との講評があり、きのこ料理の発展への期待がふくらむ大会となりました。



これらの作品のレシピは、主催した日本特用林産振興会のホームページで紹介されています。皆さんもぜひ、新しいきのこ料理にチャレンジされてみてはいかがでしょうか。

<http://nittokusin.jp/wp/>